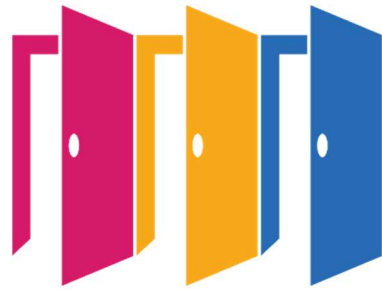




2020-21 年度テーマ



ロータリーは機会の扉を開く

第 2670 地区

宿毛ロータリークラブ会報

■会長	高瀬 一也
■幹事	有田 裕彦
■SAA	西田 教世
■クラブ奉仕委員長	保田 孝司
■職業奉仕委員長	池 和明
■社会奉仕委員長	筒井 大八
■国際奉仕委員長	増田 博和
■青少年奉仕委員長	二神 雅彦

■例会日	毎週木曜日 12:30~13:30
■例会場	宿毛市幸町 秋沢ホテル
■事務所	〒788-0003 高知県宿毛市幸町 6-43 TEL 0880-63-3416 FAX 0880-63-3417 URL http://www.gallery.ne.jp/~sukumorc/ E-Mail sukumorc@mb.gallery.ne.jp

例会報告 第2701回 令和2年10月8日(木曜日) 天気:雨

- 例会司会: 西田 SAA
- 開会点鐘: 高瀬会長
- Rソング: 我等の生業
- お客様:

四つのテスト 言行はこれらに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

■会長報告 高瀬会長

コロナの関係で隔週の例会でしたが、10月から毎週の例会に戻りました。よろしくお願ひ致します。台風14号も近づいております。気を付けてください。

10月5日にみかじめ料等縁切り同盟に参加してきました。代表のカシハラさんが体調が悪いと言う事で代表を退かれまして代表が交代になりました。

■幹事報告 有田幹事

■宿毛市環境課より:

- ・宿毛市クリーンデーの実施について

■米山記念奨学会より:

- ・10月米山月間資料のご案内

■ガバナー事務所より:

- ・2021-2022年度 ロータリー財団補助金管理セミナー開催のご案内

欠席届 6名

■10月誕生日・結婚記念日

10月誕生日

二神会員

10月結婚記念日

竹葉会員、松村会員

■委員長報告

ゴルフ愛好会 西田会員

宿毛4団体親睦ゴルフコンペ、宿毛青年会議所、宿毛青年会議所シニアクラブ、宿毛ライオンズクラブ、宿毛ロータリークラブの4団体です。11月29日にあります。

■プログラム 筒井会員

米山協議会報告

小栗会員

第I分区第II分区の米山委員長の会が9月26日高知のカルポートでありました。今までホテルで開かれていましたがカルポートでは今回初の開催だと思ひます。

会長と二人で行きました。高知西RCの地区委員のタケダさんの挨拶、ガバナーエレクト中村RCの東さんの挨拶から始まりました。続いて米山委員長は高知北RCの津田さんの挨拶、5人の留学生の卓話が始まりました。まず最初は、香長RCでお世話をしているパウディー・スミスさん、

ネパールの方の卓話でした。2番目にユディアリエスタ・チャンドラさん、この方が来週3クラブ合同例会で卓話をしてくれます。続いてお世話クラブは高知中央RCでホン・カンキンさん中国の方です。4番目にお世話クラブ高知東RCレイティ・フィンさん中国の方です。5番目にハン・コンリュウさん韓国から来ていました。5番目の方は日本語も話も上手で非常に楽しませてくれました。皆さん話がとても上手でした。

次に5名が留学している高知大学、高知工科大学、高知県立大学の教員の方が挨拶をしてくれました。最後に第I第II分区のガバナー補佐の講評がありました。

来週3クラブ合同例会です。出来る限り多くの参加をお願いします。

高瀬会長

今度来ていただく奨学生ユディアリエスタ・チャンドラさんですがインドネシアの方で高知県立大学の共同災害看護学と言って災害が起きた時に看護する学部のようなようです。来週のお話をさせていただきたいと思ひます。

来週の3クラブ合同例会の件ですが、スクール形式で行いたいと思ひます。今回は次年度ガバナーの予定でありますガバナーエレクトの東さんが来られますので東さんに最初の挨拶等を頂くようにしています関係で進行のほうは例年と変わってきますが、SAAに進行は任せたいと思ひます。

卓話 有田幹事

高知県の洋菓子関係の大きな組合は3つありまして、菓子工業組合、製パン組合、洋菓子協会、だいたい入る人はどれか2つに入っています。どこにも入っていない方も多いのですが。この中で会費の集め方と言うのが県独自で決めていいのですが、高知県は独自の集め方をやってまして、菓子工業組合は全国組織なのでほとんど同じなのですが、洋菓子協会はオーナーさんや若い職人さんが多いので総会の時に色々な情報が欲しかったり講習会は参加したいしなのでオーナーの会費と職人の会費が別になっています。製パン組合はパンを作る時に使うイースト菌に協会費が含まれていて使う量によって協会費が変わってきます。

この時期洋菓子協会は施設の訪問をしまして6人くらいで訪問して施設の子供たちと一緒にクリスマスケーキを作ります。今年は中止になりました。施設には事情があって親御さんと暮らせない子たちが赤ちゃんから中学校を卒業するまでの子が入っています。ケーキを作るイベントには年中の子たちから上の子が参加します。あんまり込み入った質問はしないのですが、この子たちはゲームとか自分の趣味の物はどういう風にするのかなと思ひます。普通に挨拶はしてくれるのですが、やっぱり外からのお客様さんというか大人に対して警戒感があるみたいで最初はあんまり寄って来ません。どこの施設に行っても最初は遠巻きに参加します。班に分かれて一緒にケーキ作りをするのですが、こちらから協会の本部からお金を貰って

やっているのと一緒に作る所などを写真を撮るのですが、帰りにその写真を全部チェックされます。施設の子たちの顔が写っていたらダメです。どこで誰が見るかもわからないのでそういう所には職員が敏感になっています。施設によっていろいろ違うのですが、四万十市の施設はすごくおらかで近所の子供たちが遊びに来てたりします。高知市内のある施設では写真は絶対ダメで施設の名前も出さないで欲しいと言われます。半日一緒にケーキをみんなで作って食べて帰るんですがその頃になると打ち解けて来ます。片づけていると小さな子供たちが奥からおもちゃを持って来ておもちゃを貸すからまだ帰るなと思っているようです。

この活動は奉仕の気持ちというロータリーの理念に通ずるのではないかと考えます。

■出席報告

58.33%